

Press Information

2006-12-19
No.06-14

伊藤忠商事株式会社との業務提携に関するお知らせ

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元久隆 本店：東京中央区 本社：埼玉県羽生市）は、拡大・成長戦略である中期経営計画「Global 30」の達成に向け、伊藤忠商事株式会社（以下、伊藤忠商事）との間で、海外事業での提携関係の構築および非自動車事業での販売を推進することを決定いたしました。

直近の事案としては「産業機械・鉄道車両向けのブレーキ製品販売における拡販体制構築」「北米事業統括会社への資本参画」の検討を進めてまいります。

また、中長期的には、北米補修品事業での提携をはじめとして、グローバルでの販売協力関係の構築、物流に関する効率化の追求なども検討してまいります。

この提携は、産業機械・鉄道車両などでの海外を含む新規客先の拡大、伊藤忠商事の保有するノウハウ活用を含めた経営資源の有効活用が見込まれることから、当社にとって大きな意義があるものです。

伊藤忠商事は、当社の安定株主であるほか、北米生産子会社のひとつである Amak Brake L.L.C. および中国2拠点でも合併で事業を展開しており、従来から協力関係を築いております。今回の業務提携は、伊藤忠商事による当社への出資比率引き上げを行うことにより、これまでの関係をさらに発展させたものであり、両社協力の下、さらなる成果を追求してまいります。

別紙ご参考【業務提携の主な内容】

【別紙】

業務提携の主な内容は以下の通りです。

1. 産業機械・鉄道車両分野

- 産業機械・鉄道車両分野での当社製品の海外・国内の拡販体制構築を視野に、伊藤忠商事グループと共同で、当社の産業機械および鉄道車両用ブレーキなどの販売会社設立を検討すること。

2. 北米事業再編

- 北米事業統括会社であるAkebono Corporation (North America)に対する伊藤忠グループによる出資参画を検討すること。
- 伊藤忠商事グループとの間で北米における補修用ブレーキ部品販売に関する合併会社設立の可能性を検討すること。
- 当社グループの北米での物流事業における、伊藤忠商事グループの機能の活用による効率化の推進を検討すること。

3. 海外輸出版売

- 日本からの当社製品の伊藤忠商事グループを活用した新規輸出先開拓の検討を行うこと。

4. 海外での協力

- 当社海外事業での協力検討を行うこと。

5. 伊藤忠商事による当社株式の保有比率の引き上げ

- 現状約0.8%（2006年9月末現在）を保有している曙ブレーキ株式を、2006年12月末を目処に、約9.5%まで引き上げ保有すること。